

令和6年度行政評価 施策評価シート （令和5年度実績）

施策名 歴史文化の保存活用

施策コード 5010103

1. 施策の担当	
主管課	教育部 文化財保護課
関係課	生涯学習課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり（活力・賑わい）	第1節 観光
	施策	歴史文化の保存活用	

基本方針	
地域の歴史・文化を伝える貴重な文化財を、すべての市民が親しみをもち、誇りを持つことで、地域の活性化につながるよう保存と活用をめざします。	

現況と課題	
・3つの日本遺産や世界かんがい施設遺産をはじめとして、市内に保有する様々な文化財を地域の重要な歴史遺産として親しみ、活用するために観光資源化を推進することが求められています。 ・史跡日根荘遺跡の周知看板及び整備にかかる計画を年次的に進め、所有者等と適切な史跡の保存と活用に向けて事業を実施していますが、整備に向けては民有地の管理問題が大きな問題となっています。 ・史跡及び建造物の維持管理が必要です。 ・文化財所有者・管理者の後継者不足の解消と技術継承が課題です。 ・開発等による埋蔵文化財の調査、出土文化財等の適切な保存・活用に向けた行政・教育・地域住民との連携を強化するとともに、泉南地域自治体の文化財業務の広域連携化を行いました。 ・文化的景観の選定地区は、現在、大木地区の日根荘大木の農村景観のみですが、土丸・日根野地区を将来追加する必要があります。 ・博物館相当施設「歴史館いずみさの」の市内文化財の魅力発信拠点としての活用が必要です。 ・佐野町場に点在する文化財の建造物と北前船主の歴史的まちなみの保存と活用が求められています。 ・葛城二十八宿のひとつである犬鳴山七宝瀧寺とその周辺は、修験道の道によって古来より河内・大和・紀伊と密接に結びつき、戦国時代には両乞いの祈禱を託すなど地域の拠り所であり、今後も葛城修験の霊場の保存と活用が求められています。	

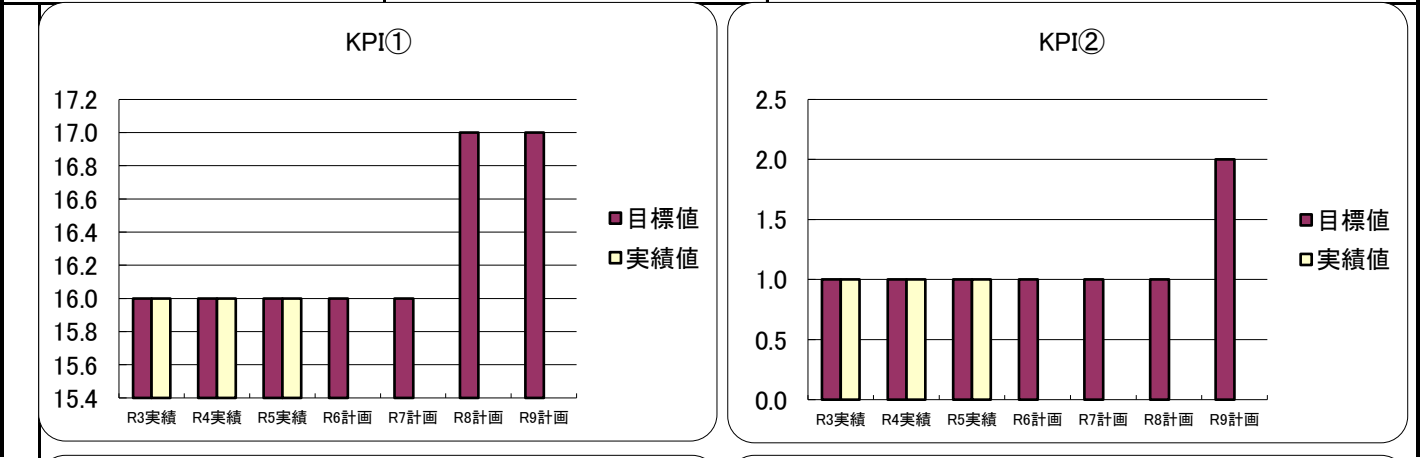
施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民	
意図（どのような状態にしたいのか）	
市民が泉佐野市固有の歴史遺産を知ること、郷土意識の向上を行う。また、地域の文化財を地域で守る体制や支援づくり、学校及び地域活性化につながる連携した施策づくり。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	51.8						
重要度（偏差値）	43.1						

4. 施策にかかるコスト								
		単位	R4決算	R5決算				
コストの内訳	人件費	千円	45,783	48,277				
	事業費		135,408	72,746				
	フルコスト		181,191	121,023				
財源内訳	国庫支出金	千円	19,239	0				
	府支出金		173	162				
	市債		0	0				
	その他		70,016	28,764				
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		91,763	92,097				
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		45,980	43,820				

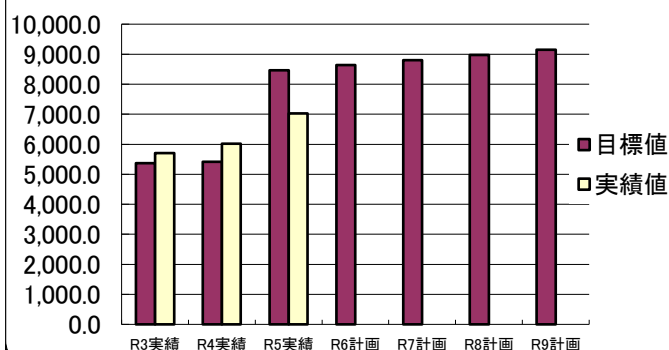
5. 施策の重要業績成果指標（KPI）							
① KPI 1		史跡日根荘遺跡の総指定箇所数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	17.0	17.0
実績値	16.0	16.0	16.0				
達成度	100.0	100.0	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内日根野・土丸・大木地区に広がる本史跡については、平成14年の保存管理計画に基づき、順次追加指定をすることで史跡の内容充実をはかり、将来豊かな地域づくり、人づくりに役立てられるよう適正な保存管理と活用をめざします。		保存管理計画書で策定した追加指定候補地の計画による。 現在、史跡保存管理計画書の策定済み、単年度目標値を変更した。		16地点目の指定地として土丸・雨山城跡が追加指定された。			

② KPI 2		歴史的・文化的景観の保護活用にかかる計画地区数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0
実績値	1.0	1.0	1.0				
達成度	100.0	100.0	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内に所在する歴史的建造物や文化財とそれを取り巻く良好な自然環境等を総合的に保全活用するためには計画策定が必要となる。計画を策定することによって景観を積極的に保全する施策を推進することができる。		対象となる地区の持つ景観資源の確認、住民の意向を確認しながら計画策定をする必要があるため、現在策定済の大木地区の景観保護を進めながら、10年間でさらに土丸・日根野地区で1箇所の計画策定を目指すこととした。		大木地区の景観保護を進めている。			
③ KPI 3		旧新川家住宅・旧向井家住宅の入館者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	5,370.0	5,420.0	8,464.0	8,634.0	8,804.0	8,974.0	9,144.0
実績値	5,706.0	6,022.0	7,031.0				
達成度	106.26	111.11	83.07				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市指定文化財の旧新川家住宅・旧向井家住宅の公開と活用を推進する。		第5次泉佐野市総合計画の後期基本計画をベースに令和5年度の目標値を8464人とし、そこから毎年170人増を目指すこととした。		依然新型コロナウイルスの影響はあるものの、回復傾向にある。			
④ KPI 4		歴史館いずみさのの年間利用者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	11,350.0	11,400.0	8,500.0	8,900.0	9,300.0	9,700.0	10,100.0
実績値	5,132.0	6,368.0	8,658.0				
達成度	45.22	55.86	101.86				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
歴史館いずみさのの利用者数を把握することで、市民の歴史文化に関するニーズに対して情報発信ができているかどうかの指標となる。		平成27年度から指定管理者制度を導入し、平成27年度実績10,065人から年間50人の増加を目標としたが、5次総計において目標値を見直し、令和5年度の目標値を8500人として、そこから年間400人の増加を目標とした。		令和5年度は展示ケースのLED改修工事に伴った展示室の閉室期間があったものの、その間もエントランスで開催できるワークショップは開催した他、新型コロナウイルスの影響が薄くなった結果入館者も増加した。			
⑤ KPI 5		歴史館いずみさのの利用者満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	96.5	97.0	97.5	97.5	97.5	98.0	98.0
実績値	99.2	97.5	97.4				
達成度	102.8	100.52	99.9				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の郷土の歴史及び文化に対する関心を高めるために行っている各種事業についてのアンケート調査により、利用者の満足度を把握することで、歴史館いずみさののより一層の活用を図る指標となるため		5次総計において目標値を見直し、令和5年度の目標値を97.5%とし、以降その水準を維持しつつ最終目標値を98%とした。		令和5年度は展示ケースのLED改修工事に伴った展示室の閉室期間があり、その間の展覧会・講演会・自主講座・展示解説等の回数が減ったため。			

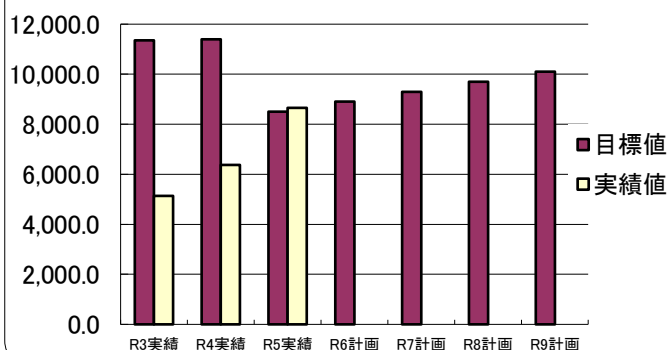


図表

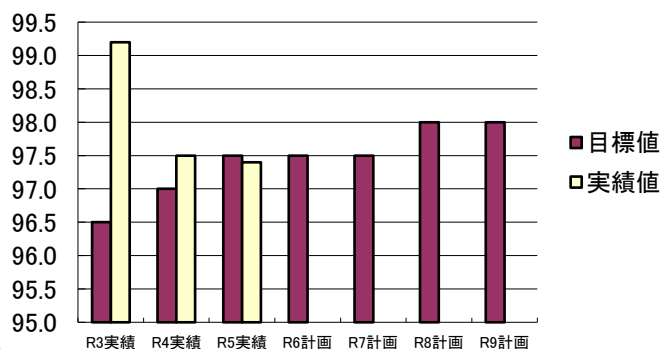
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	令和元年度に日本遺産に認定された、中世より継続した農村景観を持つ荘園遺跡として全国で初めての国史跡である日根荘遺跡は、全国的にも非常に貴重な中世荘園故地であることを周知するために継続した成果が必要である。また、令和2年度には新たに2つの日本遺産(北前船寄港地・葛城修験)が認定された。地域の活性化をはかるため、それら関連する文化財を整備・活用し、効果的に発信していくことが求められている。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	文化財の所有者や地域の住民に対して文化財保存の意識を高めるとともに、地域社会に活かされる文化財となるよう広報や普及行事などを通じて継続的な施策を展開する。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 1	文化財保護法、府及び市文化財保護条例に基づく文化財の保存をベースとして、文化的景観や史跡をはじめとした地域の文化財を保存活用することで、地域の活性化につながる基礎づくりが必須である。日本遺産をはじめ、各地で文化的景観や史跡をはじめとする文化遺産を地域活性化や観光振興へ活かす取り組みも広がっていることから、日根荘や文化的景観などの果たす役割が大きくなっている。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	施策の満足度は標準程度である一方重要性が低いことから、必要以上の事業を行っていないか現状を見直す必要がある。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		C	日本遺産認定関連で非常に高い成果を上げているところであるが、重要度、満足度の低下があり、日本遺産という格付けを観光振興につなげるための展開に努められたい。
三次評価(理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		C	市民の郷土の歴史及び文化に対する関心を高めるための各種事業の充実を図り、日本遺産等の歴史的資源を活用した地域の活性化に努めること。

7. 施策を構成する事務事業

事務事業			R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061100	史跡等保存事業	22,948	22,626	5,597	0	A
2	01061300	庁舎管理(文化財保護課分室)事業	5,741	9,008	7,836	0	B
3	01061400	文化財保存事業	8,162	10,799	236	0	B
4	01061700	文化財施設管理事業	6,529	3,457	3,295	0	B
5	01083248	歴史館管理運営事業	4,897	26,856	26,856	0	B
合計			48,277	72,746	43,820	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	060601010	予算コード	01061100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	史跡等保存事業			正規職員数	2.45	国庫支出金	0	有効性	A
担当課	文化財保護課			嘱託職員数	0.8	府支出金	0		
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数	0	市債	0	効率性	A
	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領			歳出(千円)		その他	17,029		
	文化財保護法・大阪府文化財保護条例・泉佐野市文化財保護条例・泉佐野市開発指導要綱・景観法・泉佐野市日根荘の里大木地区景観計画による届出行為等に関する条例			人件費総額	22,948	一般財源	28,545	妥当性	A
						減価償却費	0		
						事業費	22,626	受益者負担	該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	45,574	緊急性	B	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	460	公的関与	A	国史跡日根荘遺跡の保存管理のための行政指導、国重要文化課的景観日根荘大木の農村景観の保存管理のための行政指導（景観法関連を含む）の実施。国史跡日根荘遺跡及びに重要文化的景観日根荘大木の農村景観に関連する普及啓発事業等の実施。	
対象				活動指標	R5実績	実施主体・委託化	B		
特定の市民	対象数	110		調査件数	1.0	他の事務事業との関連	B		
指定地の土地所有者・管理者及び重要文化的景観関係団体等						透明性	A		
事業の内容	行政指導（現状変更等）				14.0	財政健全化計画	該当なし		
史跡等保存事業として以下の業務を実施している。 ①国史跡日根荘遺跡の適切な保存と管理を行うための行政指導業務 ②大規模開発等の事業者（部局）との文化財保存との共存を図る協議等 ③国史跡日根荘遺跡と文化的景観にかかる調査・普及（暫定活用含）等事業 ④国重要文化的景観日根荘大木の農村景観の保存活用にかかる業務 ⑤指定地の所有者に対して有効な保存と管理についての行政指導 ⑥文化的景観と関連する景観法に基づく景観計画策定及び条例規則にかかる業務 ⑦日本遺産日根荘推進協議会事業にかかる業務 ⑧日本遺産北前船にかかる業務 ⑨日本遺産葛城修験にかかる業務	保存と調査にかかる協議				377.0	財政健全化の取組	該当なし		
	ワークショップ等事業				38.0				
	成果指標			R5実績					
	指定件数				17.0				
	ワークショップ等事業参加者				6,271.0				
	日根荘の文化的景観委員会開催				0.0				
	コスト指標			R5実績					
	調査1件当たりの経費				44,899.0				
事業の目的	国史跡日根荘遺跡及び国重要文化的景観日根荘大木の農村景観の保存活用整備のために必要な調査・協議・普及・整備等の事業を行う。			協議・ワークショップその他活動指標1件当たりの経費	105.0				

事務事業コード	020301010	予算コード	01061300	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	庁舎管理（文化財保護課分室）事業			正規職員数	0.5	国庫支出金	0	有効性	B
担当課	文化財保護課			嘱託職員数	0.45	府支出金	0	埋蔵文化財発掘調査による出土品の整理及び保管にを進め、その調査成果を市民へ継続的に情報提供できるよう、展示品や教材資料などとして広く公開・活用を図ることに努める。	
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0		
	■法律・政令・省令 ■要綱・要領			歳出(千円)		その他	1,172		
	文化財保護法、市開発指導要綱			人件費総額	5,741	一般財源	13,577		
						減価償却費	0		
						事業費	9,008	妥当性	B
								受益者負担	該当なし
事務事業類型	施設管理事業			フルコスト(千円)	14,749	緊急性	A	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	149	公的関与	A	遺跡内外における届出通知依頼の発掘調査の整理収蔵管理	
対象				活動指標	R5実績	実施主体・委託化	A		
不特定の市民	対象数	不特定		施設の管理及び出土品の保管件数	3.0	他の事務事業との関連	C		
開発事業者、市民、大学、研究機関等				収蔵資料保管面積	560.0	透明性	B		
事業の内容						財政健全化計画	該当なし		
文化財保護課分室（S造2階、延べ床面積592.15㎡、平成9年1月竣工、平成14年10月に大阪府から譲渡）と土丸収蔵庫施設の維持管理及び記録資料（図面や写真等）の適切な保管収蔵管理業務。文化財保護課事務所移転とそれに伴う事務的業務。						財政健全化の取組	該当なし		
						改革改善プラン達成度	C		
				成果指標	R5実績				
				収蔵資料保管コンテナ数	6,979.0				
				コスト指標	R5実績				
				保管施設1㎡あたりの経費	24,244.6				
			コンテナ1箱あたりの経費	1,945.4					

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020301030	予算コード	01061400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	文化財保存事業			正規職員数	1	国庫支出金	0	有効性	A
担当課	文化財保護課			嘱託職員数	0	府支出金	0		
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	0	市債	0	効率性	A
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)		その他	10,563		
	文化財保護法・府、市文化財保護条例・附属機関条例			人件費総額	8,162	一般財源	8,398	妥当性	A
						減価償却費	0		
						事業費	10,799	受益者負担	該当なし
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	18,961	緊急性		B	事務事業実施内容
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	191				文化財保護審議会の運営 指定文化財の保存 国指定文化財補助事業（維持管理事業） 泉佐野市文化財保存活用地域計画の策定
対象				活動指標	R5実績	公的関与	A		
特定の市民		対象数	64	文化財保護審議会	0.0				
指定文化財所有者等				文化財調査・助成支援の指導・打合せ	9.0	実施主体・委託化	A		
事業の内容	文化財保存事業として以下の業務を行っている。 ①市内にある文化財保存のための調査・指定業務 ②市文化財保護審議会運営業務 ③国・府・市指定文化財の所有者に対し、維持管理（一部）及び保存修理等への補助金交付業務			文化財修復事業の調整・指導	2.0				
				審議会運営にかかる事務	0.0	他の事務事業との関連	B		
				補助対象文化財指定件数	64.0				
				成果指標	R5実績	透明性	B		
				文化財指定件数	64.0				
						財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
						コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	
事業の目的	市内に残る文化財の所在確認、内容調査を踏まえ文化財所有者及び文化財保護審議会との調整により必要に応じてその保護措置を講ずる。さらに指定文化財の公開活用に関する普及事業を行い、広く文化財の保存への意識を高める。			文化財指定1件にかかる経費	131,218.8				

事務事業コード				020302070		予算コード		01061700		一次評価		B	
事務事業名		文化財施設管理事業		正 規 職 員 数		0.8		国庫支出金		0		有効性	
担当課		文化財保護課		嘱託職員数		0		府支出金		162		B	
根拠法令等		市単独事業		臨時職員数		0		市債		0		効率性	
		■条例・規則		歳出(千円)		0		その他		0		A	
		泉佐野市指定文化財旧新川家住宅条例		人件費総額		6,529		一般財源		9,824		妥当性	
		泉佐野市指定文化財旧新川家住宅条例施行規則						減価償却費		0		A	
		泉佐野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例						事業費		3,457		受益者負担	
事務事業類型		施設管理事業		フルコスト(千円)		9,986		緊急性				C	
実施手法		全部委託		市民1人当たりコスト(円)		101							
対象				活動指標		R5実績		公的関与				B	
不特定の市民		対象数		委託契約事務等		4.0		実施主体・委託化				C	
事業の内容				物品購入及び支払い事務等		4.0							
①旧新川家住宅（木造2階建、内蔵、外蔵など、延べ床面積506.21㎡、修理費元価格336,274千円）の維持管理及び運営。平成18年度より指定管理者制度による運営管理へ移行。現在の指定管理者は 特定非営利活動法人泉州佐野にぎわい本舗で、指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日まで。 ②泉佐野市指定文化財旧向井家住宅の公開管理（令和4年8月1日より泉佐野てらこやSANOTERAに管理委託） ③重要文化財奥家住宅の管理（奥家保存会に管理委託） ④登録文化財大將軍湯の管理（令和4年6月まで大將軍湯保存会に管理委託、現在は文化財保護課で管理） ⑤衣通姫ガイダンスセンターの管理（衣通姫活用推進協議会に管理委託）				旧新川家住宅・旧向井家住宅の開館日数		555.0		他の事務事業との関連				B	
				成果指標		R5実績		透明性				B	
				旧新川家住宅・旧向井家住宅の入館者数		7,031.0							
								財政健全化計画		該当なし			
										財政健全化の取組		該当なし	
						コスト指標		R5実績		改革改善プラン達成度		該当なし	
事業の目的				入館者1人あたりの経費（円）		1,397.2							
①旧新川家住宅は歴史的建造物を活用した歴史・文化に関する興味関心に答えるとともに佐野町場の活性化の核となっている。 ②旧向井家住宅はかやぶき民家住宅として公開活用の場となっている。 ③奥家住宅は泉佐野市の重要文化財であり、泉佐野市が管理団体として管理している。 ④大將軍湯は保存活用計画策定に向けて、維持管理を行っている。 ⑤衣通姫茅渚宮跡の普及の場として維持管理・公開をしている。													

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	020302090	予算コード	01083248	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	歴史館管理運営事業			正規職員数 0.6	国庫支出金 0	有効性	B	引き続き歴史館の業務をより効率的、効果的に設置目的の達成、市民サービスの向上、管理経費の縮減を図る。	
担当課	文化財保護課			嘱託職員数 0	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	B		
	■条例・規則			歳出(千円)	その他 0				
	・泉佐野市立歴史館いずみさの条例			人件費総額 4,897	一般財源 31,753	妥当性	A		
	・泉佐野市立歴史館いずみさの条例施行規則				減価償却費 0				
	・泉佐野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例				事業費 26,856	受益者負担	B		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	31,753	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	320	公的関与	C	歴史館いずみさのの管理運営	
対象				活動指標	R5実績		C		
不特定の市民		対象数		歴史館いずみさのとの協議回数	12.0	実施主体・委託化	C		
				委託契約事務等	1.0		C		
事業の内容						他の事務事業との関連	B		
歴史館いずみさのの管理運営。平成27年度より指定管理者制度による管理運営へ移行。 現在の指定管理者は、公益財団法人大阪府文化財センターで、令和8年3月31日まで。									
				成果指標	R5実績	透明性	B		
				歴史館いずみさのの年間利用者数	8,658.0				
						財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	C		
事業の目的				利用者1人あたりの経費	3,101.9				
歴史館いずみさのは日根荘を中心とした中世荘園のテーマ館として運営し、泉州を中心とした歴史や文化についての資料類を収集しており、それらの資料類等を活用し、業務をより効率的、効果的に設置目的の達成、市民サービスの向上、管理経費の縮減を図る。									